



民生委員・児童委員

第19号



たが民児協だより



発行者 多賀町民生委員児童委員協議会
事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課
TEL0749-48-8115 有線2-2021
E-mail fukushi@town.taga.lg.jp

—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

「こんにちは」多賀町の皆さま。平素は多賀町民生委員児童委員協議会の活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。多賀町では三十三名の民生委員・児童委員が町内各担当地域の実情にあわせて福祉に関する幅広い活動を行って頂いています。地域住民である皆さまと同じ立場で相談にのり、必要であれば福祉制度や支援サービスを受けられるよう関係機関へつなぐ役割を果たしています。現在の高齢化社会の状況から各担当地域における民生委員・児童委員の活動は、高齢者に関わる活動が中心となっています。高齢者の急病等緊急時に備える、救急医療情報キット「命のバトン」が行政と社会福祉協議会（共同募金会）の支援により、昨年五月から対象者への配付を開始することができました。今後も継続した事

安心して暮らせる地域社会づくり

多賀町民生委員児童委員協議会

会長 土居 正彦

業の取り組みを進めてまいります。高齢者対策の重点的な事業として実施しております、ひとり暮らし高齢者等の見守りや安否確認・生活相談等は、住民の皆さまの協力を得ながら日々の訪問活動など、その取り組みに力を注いでいます。が、地域社会での孤立や生活困窮・悪徳商法被害・日常の生活支援などが課題となっています。高齢者の皆さまが地域で安心して生活を送ることができるよう支えていくためには、民生委員・児童委員の活動のみならず、住民の皆さま、自治会などの地域関係者や社会福祉協議会等との連携をより一層深め、皆で助け合っている地域社会となるよう、民生委員・児童委員活動を行っていく所存です。町民の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

民生委員・児童委員一斉改選の年です!

平成28年11月30日をもって、現在の民生委員・児童委員の3年間の任期が満了します。

民生委員・児童委員の役割は、地域の状況を適切に把握し、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立って、援助を必要とする住民に対する相談援助や情報提供、福祉事務所等関係機関への協力等をはじめ、子育て家庭への援助や児童虐待問題の予防

や早期対応等の積極的な取り組みを行う、「地域のつなぎ役」です。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを推進していくため、活発な行動力と柔軟な指導力を有するとともに、広く社会の実情に通じ、社会福祉に対する理解と熱意を持って、民生委員・児童委員として将来にわたって積極的な活動が行える人材が求められています。

地域のみんで支えあい

「命のバトン」の取り組み

民生委員・児童委員の活動は、児童青少年の見守り、障がい者への支援、一人暮らし高齢者の見守り等々があります。

今回は、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を対象として取り組んだ「命のバトン」について、皆さまにお知らせします。これは、ひとり暮らしや、昼間一人になる高齢者等が緊急で救急搬送が必要になった場合等、いざというときに役立てられるよう、必要と思われる方に配付しています。筒の中の「情報用紙」には、お名前、おところ、生年月日、かかりつけの病院・医院、いつも飲んでる薬、もしものときの連絡先等を記載し、「命のバトン」の筒に入れて、冷蔵庫に設置していただいています。今後事業を継続し、多くの町民の方に安心をお配りしたいと思います。民生委員から配付が無かった方で、配付を希望される場合は民生委員にお申し出ください。お待ちしております。



各地域の民生委員・児童委員 (任期:H25.12.1~H28.11.30)

担当区	氏名	担当区	氏名
多賀	火口悠治	一円	土居正彦
	遠城はつえ	中川原	野村惣藏
	大辻美代子	木曾・脇ヶ畑	多賀節子
	藤井金一郎	河内・霊仙	菅森時子
	宮下進	屏風・後谷・向之倉 甲頭倉・水谷・桃原	宮下勇
尼子	岸邊次郎	川相	森清美
猿木	古川新司	一ノ瀬・佛ヶ後	林喜久雄
敏満寺	小菅綾子	藤瀬	西澤知子
	山口勲	富之尾・梨ノ木・楷崎	坂上法子
土田	曾我勝博	萱原	久保田里美
四手	植野比登美	大杉・樋田	山本喜久代
八重練・大岡	馬場勝子	小原・霜ヶ原	足立輝夫
	小財良一	佐目	東岸良子
久徳	近藤勇	南後谷	黒川清子
	小財惣九郎	大君ヶ畑	霊正芳信
月之木	小財惣九郎	主任児童委員	林壽美子
栗栖	山中元子	主任児童委員	富田愛子

組織(役員)

障がい者福祉部会長	児童青少年部会長	高齢者福祉部会長	監会	副会
黒川	近山	火山	岸野	坂小
土居財	村上	野村	野村	土居
正彦	惣藏	法蔵	惣藏	正彦
九郎	久治	次郎	喜代	悠太郎
清子	悠治	喜代	悠太郎	清子
長	長	長	長	長

民生委員制度は、平成29年に制度創設100周年を迎えます。



全国民生委員児童委員連合会（全民児連）では、この100周年という大きな節目を迎えるとともに、民生委員・児童委員活動の一層の充実・発展に向け、また、広く地域の方々にアピールしていくために、シンボルマークおよびキャッチコピーを作成されました。

シンボルマークは、民生委員・児童委員のマークと、「100」の文字を組み合わせ、さらに「地域に根ざす」という委員活動の特性を踏まえたキャッチコピー「これからも地域とともに」を一体的にデザインしています。

災害時ひとりも見逃さない運動の推進

町長の「いもむす」

このたび、町民の皆さまの負託をいただき、引き続き町政運営の重責を担うこととなり、町政発展のため全力を尽くす所存でございます。皆さまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

民生委員・児童委員の皆さまにおかれましては、住民の皆さまが安心して暮らすことができるよう、高齢の皆さまへの見守り・声かけなどのきめ細やかな支援や子どもたちの登下校でのスクールガードとしての温かい声かけなど、日々献身的にご活動いただいておりますことに対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

今後とも、地域の皆さまの身近な良き相談相手として、また、地域と行政を結ぶパイプ役として、お力添え賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げますとともに、町民の皆さま一人ひとりが絆を結び、共に支え合うまちづくり、地域福祉の中心となって活躍いただきますよう心からお願ひ申し上げます。ご挨拶いたします。

多賀町長 久保 久良

健やかな成長を

地域全体で

児童青少年部会
副部長 菅森 時子

新学期が始まり早や二か月、新しい環境にも少しずつ慣れ、友だちや先生との信頼関係も深まり安心してきた頃ではないでしょうか。しかし、中にはまだまだ不安な思いをしている子がいるかもしれません。誰かが気づいて声をかけてくれることを願っています。

ある研修で、人間の「幸せ」は「かわり・つながりの豊かさ」の中にあるとお聞きしました。しかしながら、現代社会はつながりよりも個を優先するようになりつつあると感じます。私自身も反省すべきところが多々ありますが、多くの人に励まされ、支えられていることに幸せを感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち委員は、地域の子どもの見守りや声かけなどの活動を通して声かけの輪が広がり、みんなが「つながり・支え合う」ことで、いじめや虐待の無い、安心して住める地域を目指しています。地域の子どもは地域みんなで育てるために、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

人にやさしい

社会づくり

障がい者福祉部会
副部長 久保田 里美

本部会の活動として、(社)杉の子会事業への協力や、昨年は福祉施設見学研修として、(社)とよさと彦愛犬地域障がい者生活支援センター「ステップアップ21」を訪れました。この施設は全館バリアフリーで、広いプレイルーム等があり、デイサービスや様々な活動を実施されています。すばらしいと思ったのは「スヌーズレン室」で、光と音と匂いのリラクゼーションルームで、ゆったりと過ごせ、心身ともに癒されます。ランチタイムにはカレーのお店「THE21」を営業されていて、一般の方も利用できますので機会があればぜひお出かけください。

この四月より障害者差別解消法が施行されました。この法律は、すべての国民が障がいの有無による分け隔てのない、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につながることを目的としています。障がいのあるひとにとって住みやすい社会は誰にとっても住みやすく、地域に住むすべての人にやさしい社会づくりができればいいと思います。

高齢者部会活動

高齢者福祉部会

副部長 馬場 勝子

昨今の核家族化、少子高齢化に伴い、福祉を取り巻く社会情勢が大きく変化してきました。高齢者福祉への取り組みといたしましては、日常的にはひとり暮らし高齢者等の安否確認、見守り活動に努めるとともに、併せて社会福祉協議会が実施される見守り訪問事業にも参画し、対象者の健康など安否確認を行っています。

高齢者問題に関する研修会を、平成二十七年度は「歯周病と全身疾患の関係」と題して実施しました。歯周病を予防することが将来の健康に大きな影響を与えるため、現状を維持しながら年齢を重ねることの大切さを学びました。また、各字で行われている福祉サロンを見学し、交流を図っています。身近なところで気軽に集まり、地域の皆さまが一日でも元気に楽しいひとときを過ごせる場所でありたいものです。

誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしていきたい願いを大切に、自治会、行政と協力して取り組んでいきたいと考えています。皆さまのご指導ご協力をお願ひいたします。あなたの笑顔が

いつも私たちを暖かい気持ちにしてくれる
ありがとう・・・

もしかしで

主任児童委員 富田 愛子

私たちが心を痛めているものの一つに、児童虐待があります。

滋賀県における児童虐待相談件数は年々増え続け、平成二十六年では六千件近くにのぼりました。昨年の虐待防止推進月間の標語は、「もしかしで」あなたが救う小さな手」でした。皆さまも、虐待かと思われたらすぐに一八九(いち はやく)に電話してください。その電話で救われる子どもがいます。連絡者や内容の秘密は守られます。

また、「ご自身が出産や子育てに悩まれたり」、「子育てに悩む親御さんがおられるのを知ったら」彦根子ども家庭相談センター(二四一―三七四一)や、多賀町子ども家庭応援センター(四八―八二三七)へ相談してください。

子育ては、楽しみや喜びばかりではありません。一人で落ち込んだりせずに、多賀町子育て支援センターで開催されている『わくわくランド』などに参加して、親子でほっと一息ついてください。私たちもお手伝いさせていただきます。

安心・安全を

めざして

多賀担当 遠城 はつえ

「おはよう」、「いつてらっしゃい」、「いつてきます」、今朝も元気に登校する小学生、中学生の生徒たちとあいさつを交わし、新入生をまじえ一層にぎやかな様子について頼が緩みがちですが、多賀のまちの交差点では、車のよく通る時間帯なので安全に気を配ります。交通マナーをしつかり守ってあいさつを交わすことが青少年健全育成につながればと願ひ取り組んでいます。

また、高齢者対策として独居世帯、高齢者夫婦のみの世帯等の見守りが必要とされるご家庭を訪問しています。「お変わりありませんか。」と尋ねると「おかげさんでおおきに。」と答えられ、身内の方の訪問や近所の方の声かけ等の話をお聞きし安心しております。「困ったときはお互いさま」、行政や多賀区を通じ、サロン活動への積極的な参加を呼び掛けています。

皆さまのご支援ご協力があったこそと感謝し、支え合い、思いやりのある地域づくりにお役に立てたらと願っています。

地域のつながりを

めざして

栗栖担当 山中 元子

民生委員・児童委員をお引き受けして早や三年目を迎えました。委員としての各研修を受けながら、「地域のつなぎ手」になれるよう微力ながら活動してきました。まだ自分でできることを探りながらの毎日ですが、少しでもお役に立てるよう、地域の皆さまとのつながりを深めていきたいと思ひます。

私の担当地域も高齢化が進み、以前にも増して人と人とのつながりや見守り活動が必要であると感じています。栗栖では、毎週水曜日に高齢者サロンを開催しています。参加される方は、「気楽におしゃべりができることが楽しみ」、「サロンに行くことが生活の一部になった。」等と、喜んで来てくださいます。体操、折り紙、歌、カレンダーづくり等の活動を行いながら、ゆったりとした時間の流れの中で、自由な雰囲気大切に続けています。他の字とのサロン交流会も楽しみの一つです。

今後も、地域全体が元気で安心して楽しい暮らしができるよう、関係機関のご協力もいただきながら活動を進めていきたいと思ひます。

地域と行政を結ぶ

パイプ役

佐目担当 東岸 良子

民生委員をお引き受けして早や二期目最後の年になりました。私の担当地域は、山間部で、年を追うごとに少子高齢化が進み、核家族化でひとり暮らしの世帯が増え、字の中では高齢者世帯が大半を占めるようになってきました。生まれ育った環境の中で生きるためには、家庭をはじめ地域とのつながりの大切さが叫ばれております。福祉委員に協力して地域のサロンのお手伝いをしていますが、来られる方が決まってしまったり、体調が悪く来られなくなったりと少なくなるばかりです。元気な顔を見せていただくのを楽しみにしているのに残念です。

日々の暮らしの中で、「近所に「何かいつもと違うな」と感じられることがありましたら、民生委員に声をかけてください。これからも地域と行政を結ぶパイプ役となるよう努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。